

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和6年4月11日(2024.4.11)

【国際公開番号】WO2023/286563

【出願番号】特願2023-535205(P2023-535205)

【国際特許分類】

H 0 1 M 50/55(2021.01)

H 0 1 M 50/559(2021.01)

H 0 1 M 50/562(2021.01)

H 0 1 M 50/588(2021.01)

H 0 1 M 50/593(2021.01)

H 0 1 M 50/184(2021.01)

H 0 1 M 50/152(2021.01)

H 0 1 M 50/107(2021.01)

H 0 1 M 50/188(2021.01)

10

【 F I 】

H 0 1 M 50/55 2 0 1

H 0 1 M 50/559

H 0 1 M 50/562

H 0 1 M 50/588

H 0 1 M 50/593

H 0 1 M 50/184 D

H 0 1 M 50/152

H 0 1 M 50/107

H 0 1 M 50/188

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月25日(2023.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

図4に示す外部端子板30Aは、厚肉部31A、薄肉部32A、傾斜部33A、および開口部34Aを有する点で、外部端子板30と共通する(外部端子板30B, 30Cについても同様)。一方、外部端子板30Aの厚みが径方向外側に向かって漸減する傾斜部33Aにおいて、下面のみに斜面が形成され、上面は厚肉部31Aおよび薄肉部32Aの上面と面一になっている。即ち、外部端子板30Aの上面は、全域が平坦で面一に形成されている。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

図6に示す外部端子板30Cは、外部端子板30Bと同様に、外部端子板30Cの外周縁に沿って形成された凸部35Cを有する。一方、凸部35Cは、外部端子板30Cの上方にも突出している点で、外部端子板30Bと異なる。外部端子板30Cの上面および下面

50

は、薄肉部 3 2 C で凹んでいる。外部端子板 3 0 C は、外部端子板 3 0 C の外周縁に上下に突出する凸部 3 5 C が形成されたものと言える。外部端子板 3 0 C の内周側から、厚肉部 3 1 C、傾斜部 3 3 C、薄肉部 3 2 C、および凸部 3 5 C がこの順で配置され、いずれも円環状に形成されている。

10

20

30

40

50